

公共下水道整備へ新たな PPP 導入を検討
民間事業者の皆様へ DB 方式について
ご意見を伺います（第 2 回）



令和 5 年 1 月 30 日
郡山市上下水道局
下水道整備課
課長 武藤 茂雄

ターゲット 17.17 TEL : 932-7672

SDGs ターゲット 17.17 「さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

公共下水道整備事業においては、整備の加速化や事業の効率化の観点から、今年度「公共下水道官民連携事業導入可能性調査」を実施しております。

今回は、第 1 回サウンディング調査（説明会）の際にアンケートでいただいた質問について詳しく説明し、日ごろ本市の下水道事業に携わっている民間事業者の皆様により理解を深めていただくとともに、DB 方式の導入についてご意見を伺うために、2 回目のサウンディング調査（説明会）を実施します。

- 1 日 時 令和 5 年 2 月 14 日(火) 午後 2 時から（約 1 時間程度）
- 2 場 所 上下水道局 5 階 大会議室 または ウェブ
- 3 対象者 郡山市入札参加有資格業者名簿に「土木一式」または「土木設計」で登録がある民間事業者（郡山市内外問わず）
- 4 説明概要 (1) 第 1 回サウンディング調査のアンケート結果を受けた詳細説明
 - ・ DB 方式導入の必要性について
 - ・ 入札、契約方式について(2) アンケート調査によるヒアリング ほか

〈DB 方式とは〉

DB (Design Build) 方式とは、事業者が設計、施工を一括して発注する方式で、設計から完工まで一貫した管理に基づくことで事業の効率化、工期短縮が図られる。

〈公共下水道官民連携事業導入可能性調査〉

新たな公共下水道の整備を行うにあたり、整備の加速化やコスト縮減等を図るため、民間活力（PPP）を導入した事業手法の調査等を実施し、最適な手法を検討する。第 1 回サウンディング調査（説明会）は令和 4 年 11 月 1 日に開催し、80 社が参加した。

対象地区：御前南土地区画整理地区（60ha）

富田東土地区画整理地区（25ha）